

広げよう！

クリーンエネルギー④

【隔月6回シリーズで掲載しています】



市では、地球温暖化対策として温室効果ガス排出量を削減するとともに、排出ガスを削減し、将来にわたり良好な大気環境を維持することを目的に、次世代自動車の普及促進を進めています。

今回は、次世代自動車の普及促進に向けた市の取り組みについて紹介します。

次世代自動車とは

次世代自動車とは、ガソリンなどの化石燃料の使用をゼロまたは大幅に減らして環境負荷を和らげる自動車のことで、電気自動車（EV車）やプラグインハイブリッド自動車（PHV車）

を指します。

電気を貯めて走る次世代自動車は、走行中に出る排出ガスや温暖化ガスの二酸化炭素をゼロまたは大幅に減らすことができ、大気汚染防止や地球温暖化対策など地球環境問題の改善に役立つ、環境にやさしい自動車といえます。

充電インフラ整備ビジョン

EV車の場合、1回の充電で走行できる距離が100〜200km程度と短いいため、長距離を移動する場合は途中で充電する必要があります。

このため次世代自動車の更なる普及拡大のためには、充電器の整備・拡充が今後必要になってくると考えられます。

新潟県では、県内の充電設備の設置拡大を図るため、「新潟県次世代自動車充電インフラ整備ビジョン」を策定しました。このビジョンにより、今後は道の駅や温泉地、ガソリンスタンド、自動車販売店、コンビニエンスストアなど、さまざまな場所に充電器の設置が見込まれます。

市の取り組みについて

市では、普及促進を目的に、7月にPHV車を1台導入しました。



導入したPHV車

電気自動車とは

モーターで駆動する自動車のことで、ガソリンの代わりにバッテリーに充電した電気を使って走ります。

プラグインハイブリッド自動車とは

モーターとガソリンエンジンの両方を搭載した自動車で、バッテリーに充電した電気とガソリンを併用して走ります。



次世代自動車(写真はEV車)



市内に設置されている充電器
(写真は瀬波温泉「はぎのや」)

公用車として日常業務で利用するほか、さまざまなイベントなどで活用し、環境意識の普及啓発・次世代自動車の普及促進に取り組んでいきます。

また、本年度は国の補助金を活用して道の駅（神林・朝日）にそれぞれ充電器を整備します。これから工事を行い、供用開始は年度末になる予定です。

●お問い合わせ

環境課新エネルギー推進室
☎ 53・2111（内線275）